

チェコ

Czech Republic

	2014年	2015年	2016年
①人口:1,058万人(2016年)			
②面積:7万8,870km ² (2015年)			
③1人当たりGDP:1万8,286米ドル (2016年)			
④実質GDP成長率(%)	2.7	4.5	2.4
⑤消費者物価上昇率(%)	0.4	0.3	0.7
⑥失業率(%)	6.1	5.0	4.0
⑦貿易収支(100万ユーロ)	7,998	6,887	9,260
⑧経常収支(100万ユーロ)	290	379	1,945
⑨外貨準備高(100万米ドル)	54,085	64,148	85,366
⑩対外債務残高(グロス) (100万ユーロ)	109,067	118,252	130,573
⑪為替レート(1米ドルにつき、 チェコ・コルナ、期中平均)	20.7575	24.5987	24.4399

〔注〕⑦⑧:国際収支ベース、⑦:財のみ

〔出所〕①②④~⑥:チェコ統計局、③⑨⑩:IMF、⑦⑧⑩:チェコ国立銀行

2016年のチェコの実質GDP成長率は前年を下回ったものの、2.4%を記録した。政府支出の伸び悩みや公共投資、設備投資の反動減がみられたが、個人消費や輸出に支えられた。また、貿易は引き続き自動車関連分野の輸出が好調。対内直接投資では、自動車関連分野でドイツ企業の動きが顕著であった。

■ 輸出好調も総固定資本形成が落ち込む

2016年のチェコ経済は前年に引き続き個人消費が経済を牽引、また、輸出も好調で前年の反動減で国内総固定資本形成が落ち込んだものの、前年比 2.4%のプラス成長を維持した。

GDPを需要項目別にみると、低失業率、賃金の上昇、低インフレを理由に民間最終消費支出が前年比 2.9%増と内需の底堅さを示した。また、輸出も 4.3%増、大幅増となった前年には及ばなかったものの、堅調な伸びを示した。

一方、国内総固定資本形成は 3.7%減となったが、これは公共投資が前年の約 3 分の 1 に落ち込んだため、2015年末に 2013年度(暦年)からの繰り越し予算の執行期限を迎え(2007~13年度の中期予算期間では最長 2年間の繰り越しが可能であった)、EU基金を活用した駆け込み投資がみられ、その大幅増からの反動減が 2016年にみられた。

2017年は、2014~2020年のEU中期予算のEU基金を活用した投資の手続きが進み、政府および企業の投資

表1 チェコの需要項目別実質GDP成長率

(単位:%)

	2015年	2016年				2017年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	4.5	2.4	2.7	3.6	1.6	2.0	3.3
民間最終消費支出	3.0	2.9	2.5	3.1	2.9	3.0	3.5
政府最終消費支出	2.0	1.2	1.5	2.4	0.9	0.2	1.5
国内総固定資本形成	9.0	△3.7	△0.9	△4.1	△4.3	△5.0	0.2
財貨・サービスの輸出	7.7	4.3	5.5	8.4	1.5	1.8	4.1
財貨・サービスの輸入	8.2	3.2	5.3	6.4	0.9	0.5	4.3

〔注〕①四半期の伸び率は前年同期比。

②2015年は暫定値、2016年は推定値。

〔出所〕チェコ財務省

増加が見込まれる。これに付随し、輸入増も予想される。さらに、失業率の低さや最低賃金の大幅引き上げなどによる労働賃金の上昇で、民間最終消費支出の堅調な伸びが見込まれることから、チェコ財務省は 2017年の実質GDP成長率を、2016年をやや上回る 2.5%と予測している。

■ 自動車輸出が堅調に推移

2016年の貿易は、輸出が前年比 3.3%増の 1,470億 6,900万ユーロ、輸入は 1.2%増の 1,290億 5,900万ユーロとなり、180億 1,000万ユーロの貿易黒字となった。

輸出を品目別にみると、全体の 56.3%を占める機械類・輸送用機器は前年比 4.9%増で、うち全体の 2割を占める道路走行車は 9.4%増を記録した。その中でも、自動車が 10.1%増、自動車部品が 8.4%増と大幅増となった。また、電気機器、一般産業機器もそれぞれ 6.0%、9.4%と高い伸びを示した。一方、事務機器および自動データ処理機器は 5.0%減となった。

輸出を国・地域別にみると、EU向け(構成比 83.6%)が前年比 3.8%増、うちユーロ圏向け(65.2%)は 4.5%増と好調であった。中でも最大貿易相手国のドイツ向け(32.4%)は 4.0%増と堅調な伸びを示した。またイタリア向け(4.3%)が 16.6%増と大幅増となったが、これは同国自動車市場の回復により、自動車と自動車部品がそれぞれ 30.7%増、34.5%増の大幅増となったことが主因である。一方、EU域外で最大貿易相手国の米国向け(2.2%)は 5.1%減となった。ロシア向け(1.9%)も 3.8%減と引き続きEUの経済制裁による影響がみられる。

輸入を品目別にみると、昨年大幅増となった機械類・輸送用機器(構成比 45.8%)が前年比 1.5%増とほぼ横ばいに留まった。全体の 1 割を占める道路走行車両が 12.5%増、電気機器も 7.3%増となったが、事務機器および自動データ処理機器が 11.3%減と輸出同様落ち込んだことによる。

輸入を国・地域別で見ると、EU(構成比 67.0%)からが前年比 3.7%増、そのうち、ユーロ圏(50.7%)からが 2.6%増となった。最大輸入相手国のドイツ(26.4%)からが 3.2%増で、同国からの輸入は自動車・自動車部品が最も多く、全体の 1 割強を占めている。非ユーロ圏で最大のポーランド(8.3%)からは 5.8%増であった。一方、輸入相手国第 2 位の中国(12.4%)からは 6.8%減で、最大輸入品目の電話通信機器が 13.9%減、自動データ処理機器と同部品がそれぞれ 20.9%減、17.9%減となったことが主因である。また、ロシア(2.4%)からは 18.4%減と昨年に続き大幅に減少、主要輸入品目の天然ガス、石油・石油精製品が大幅減となったことが大きい。

■ 自動車関連部門を中心に、対内投資は大幅増

2016 年の対内直接投資総額(国際収支ベース、ネット、フロー)は 61 億 400 万ユーロと 2015 年の 4 億 1,900 万ユーロから大幅に増加した。業種別で見ると、製造業では自動車関連が 8 億 400 万ユーロと 2.6 倍となった。主な投資案件は、2016 年 4 月に中国のヤンフェン・オートモーティブが内装部品工場の設立を発表、同年 5 月にドイツの自動車部品大手ロシュリング・

表 2 チェコの主要品目別輸出入

(単位:100 万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2015 年		2016 年		2015 年		2016 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	78,939	82,821	56.3	4.9	58,271	59,119	45.8	1.5
原料別製品	22,504	22,769	15.5	1.2	21,711	21,820	16.9	0.5
雑製品	17,469	19,335	13.1	10.7	14,118	15,980	12.4	13.2
化学製品	8,817	8,857	6.0	0.4	14,331	14,839	11.5	3.5
食料品・生きた動物	5,205	5,245	3.6	0.8	6,366	6,445	5.0	1.2
食用に適さない原材料	3,149	3,023	2.1	△4.0	2,784	2,715	2.1	△2.5
鉱物性燃料	4,270	2,851	1.9	△33.2	8,365	6,470	5.0	△22.6
飲料・たばこ	1,220	1,332	0.9	9.1	861	941	0.7	9.3
動植物性油脂	457	506	0.3	10.8	342	407	0.3	18.9
合計(その他含む)	142,369	147,069	100.0	3.3	127,486	129,059	100.0	1.2

〔注〕 EU 域外貿易は通関ベース(輸出は FOB、輸入は CIF)、EU 域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕 チェコ統計局

表 3 チェコの主要国・地域別輸出入

(単位:100 万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2015 年		2016 年		2015 年		2016 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	118,463	122,999	83.6	3.8	83,471	86,532	67.0	3.7
ユーロ圏	91,788	95,892	65.2	4.5	63,831	65,488	50.7	2.6
ドイツ	45,769	47,602	32.4	4.0	33,051	34,108	26.4	3.2
スロバキア	12,766	12,328	8.4	△3.4	6,540	6,527	5.1	△0.2
フランス	7,285	7,632	5.2	4.8	3,873	4,098	3.2	5.8
イタリア	5,377	6,271	4.3	16.6	5,167	5,503	4.3	6.5
オーストリア	5,797	6,226	4.2	7.4	3,794	3,729	2.9	△1.7
オランダ	3,932	4,212	2.9	7.1	3,785	3,669	2.8	△3.1
非ユーロ圏	26,675	27,107	18.4	1.6	19,640	21,044	16.3	7.1
ポーランド	8,356	8,488	5.8	1.6	10,106	10,694	8.3	5.8
英国	7,557	7,651	5.2	1.2	2,731	3,438	2.7	25.9
ハンガリー	4,222	4,219	2.9	△0.1	3,011	3,000	2.3	△0.3
スウェーデン	2,183	2,187	1.5	0.2	1,073	1,005	0.8	△6.3
ルーマニア	1,792	1,895	1.3	5.7	1,537	1,677	1.3	9.1
アジア大洋州	5,342	5,272	3.6	△1.3	27,753	27,062	21.0	△2.5
中国	1,672	1,735	1.2	3.8	17,138	15,967	12.4	△6.8
ASEAN	837	844	0.6	0.8	3,758	3,833	3.0	2.0
シンガポール	216	219	0.1	1.8	595	421	0.3	△29.3
マレーシア	169	169	0.1	△0.1	890	882	0.7	△0.8
タイ	147	132	0.1	△10.3	1,083	1,120	0.9	3.4
日本	782	842	0.6	7.6	2,065	2,248	1.7	8.8
インド	493	563	0.4	14.3	608	662	0.5	8.9
韓国	458	399	0.3	△12.9	3,031	3,174	2.5	4.7
オーストラリア	549	387	0.3	△29.6	139	137	0.1	△1.6
香港	290	256	0.2	△11.9	160	152	0.1	△5.0
台湾	187	176	0.1	△6.1	823	862	0.7	4.7
中東	4,080	4,541	3.1	11.3	1,516	1,714	1.3	13.1
トルコ	1,727	1,973	1.3	14.2	1,145	1,304	1.0	13.9
湾岸諸国会議(GCC)	1,481	1,393	0.9	△5.9	151	172	0.1	13.9
北米(NAFTA)	4,207	4,056	2.8	△3.6	3,622	3,644	2.8	0.6
米国	3,374	3,203	2.2	△5.1	2,993	2,988	2.3	△0.1
ロシア	2,890	2,781	1.9	△3.8	3,802	3,101	2.4	△18.4
アフリカ	1,551	1,481	1.0	△4.5	740	799	0.6	7.9
中南米	665	588	0.4	△11.6	734	705	0.5	△4.0
ブラジル	240	235	0.2	△1.9	244	201	0.2	△17.3
合計(その他含む)	142,369	147,069	100.0	3.3	127,486	129,059	100.0	1.2

〔注〕 ①アジア大洋州は ASEAN+6(ASEAN、日本、中国、韓国、豪州、ニュージーランド、インド)に台湾、香港を加えた合計値。

②EU 域外貿易は通関ベース(輸出は FOB、輸入は CIF)、EU 域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕 チェコ統計局

オートモーティブが約 8 億ユーロを投じたプラスチック工場を拡張した。同年 6 月には、フランスのサンゴバン・セキュリティが、自動車用ガラス製造工場の拡張完了を発表した(投資額約 3,700 万ユーロ)。電気・ガス等供給分野では、投資額が前年比約 15 倍の 10 億 6,400 万ユーロに増加した。不動産関連分野では、前年の 900 万ユーロか

ら12億8,200万ユーロと大幅に増加。主な投資案件としては、中国の投資グループ中国華信(CEFC)による、プラハ中心部のビル(2015年11月発表)、ホテル2軒(2016年1月、8月発表)、ビジネスセンター(2016年11月発表)の一連の買収がみられた。

国・地域別にみると、ドイツからの投資が前年比約4.8倍の43億8,500万ユーロに達し、最大の投資国となった。ドイツ企業の子会社買収案件としては、シーメンス・インダストリアル・ターボマシーナリーが2016年12月、タービン工場の生産拡張を発表した。ドイツに次いでルクセンブルクからの投資も多かったが、これは2015年にプラハ郊外に返品センターの増設を発表したアマゾンがルクセンブルク経由でチェコに投資したためである。投資額3位のフランスは6億500万ユーロと約3倍となった。アジア諸国では、中国から2億8,500万ユーロと最大、中国華信(CEFC)がホテルやビルなどの不動産を次々と取得し、2016年8月には大手機械メーカーのジュジャスを、同年12月には大手旅行代理店インビアを買収するなど、動きが目立った。一方、韓国からの投資は前年比76.9%減と大幅に減少し、1億ユーロにとどまった。

2016年の対外投資総額は、前年比60.3%減の8億9,000万ユーロであった。業種別では金融・保険が14億1,400万ユーロ(前年比58.1%減)でトップ、これに石油・化学・ゴム・プラスチック製造が5億100万ユーロで続いている。

国・地域別ではスロバキア向けが7億5,600万ユーロ(約2倍)で最大となった。2016年の主な対外投資案件としては、同年2月にエンジニアリングZVVZが中国での子会社設立を発表、同年6月に輸送機器メーカーのシュコダ・トランスポートが米国子会社を、同年10月には、自動車部品のプリスク・ターボルがロシアに工場を設立した。また、M&A案件としては、同年7月に、セキュリティソフト開発のアバストがオランダの同業AVGを約13億ドルで買収することを発表、エネルギー運営事業者EPHがドイツの火力発電事業などをスウェーデンの同業バッテンフォールから買収した。

■ 対日赤字は増大

2016年の対日貿易は、輸出が前年比7.6%増の8億4,200万ユーロ、輸入は8.8%増の22億4,800万ユーロで、貿易赤字は前年の12億8,300万ユーロから14億600万ユーロに拡大した。

チェコの輸出全体に占める日本の構成比は0.6%と横ばいであった。対日輸出は、最大品目の機械類・輸送機器(構成比55.6%)が前年比10.3%増、電話通信機器(25.2%)の45.0%増が影響した。雑製品(11.8%)が

表4 チェコの業種別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位:100万ユーロ)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2015年	2016年	2015年	2016年
	金額	金額	金額	金額
サービス業	△294	3,089	2,628	818
不動産	9	1,282	203	90
金融・保険	1,254	644	3,371	1,414
情報・通信	△1,711	470	39	△778
専門・科学・技術	121	433	△642	244
小売・卸売、自動車修理	△340	260	△28	△206
製造業	1,809	1,998	△311	620
自動車	313	804	△37	△64
コンピューター、電子・光学機器	304	337	△14	4
機械・機器	329	303	2	21
自動車以外の輸送機器	△19	124	△1	△5
石油・化学・ゴム・プラスチック	468	113	16	501
電気・ガス等供給	71	1,064	△337	△551
上下水道、廃棄物管理	△108	112	0	6
農林水産業	1	3	22	0
鉱業	△618	74	0	△1
合計(その他含む)	419	6,104	2,243	890

〔注〕2016年は暫定値。
〔出所〕チェコ国立銀行

表5 チェコの国・地域別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位:100万ユーロ)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2015年	2016年	2015年	2016年
	金額	金額	金額	金額
EU	863	5,688	2,191	1,202
ユーロ圏	△506	5,336	2,131	571
ドイツ	905	4,385	249	176
ルクセンブルク	1,089	1,507	765	35
フランス	199	605	58	△6
イタリア	121	569	12	△89
キプロス	△364	347	536	436
スロバキア	△148	△6	349	756
非ユーロ圏	1,369	352	60	631
スウェーデン	△113	188	△1	76
ポーランド	385	40	131	62
英国	1,044	37	△11	74
ルーマニア	△9	13	207	300
中国	250	285	0	△3
日本	84	242	△0	△0
韓国	432	100	n.a.	0
中南米	195	42	△14	139
ブラジル	△1	△1	△2	139
オーストラリア	△19	36	△29	△32
インド	△13	35	0	7
アフリカ	△3	24	△3	7
ロシア	100	3	△9	△226
北米(NAFTA)	△844	△102	56	32
米国	△807	△32	61	28
合計(その他含む)	419	6,104	2,243	890

〔注〕2016年は暫定値。
〔出所〕チェコ国立銀行

15.0%増、食用に適さない原材料(11.6%)が13.7%増で、それぞれ鉱石・貴金属選鉱(8.9%)の24.6%増と光学機器(2.7%)の84.0%増が貢献した。他方、玩具・スポーツ用品(2.1%)が46.6%減となった。

一方、輸入における日本の構成比は1.7%で、前年の1.6%より0.1ポイント上昇した。機械類・輸送用機器(構成比70.5%)が前年比8.8%増となった。とりわけ、乗用車(9.1%)の51.2%増、電気機器(6.3%)の27.3%増が寄与したとみられる。

表 6 チェコの主な対内直接投資事例(2016年)

<M&A 以外>

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
医療機器	メンリッケヘルスケア	スウェーデン	2016年3月	6,000万ユーロ	手術用具の生産工場設立を発表。新規雇用数約300人。
自動車部品	ロシュリング・オートモーティブ	ドイツ	2016年5月	800万ユーロ	プラスチック工場拡張。
電子	フォックスコン・チェコ	台湾	2016年6月	非公開	ブラハに研究・開発センター開設を発表。新規雇用数170人。
自動車部品	クーパー・スタンダード・オートモーティブ	米国	2016年7月	約10億コルナ(約3,700万ユーロ)	プレーキ・燃料部品の工場設立を発表。新規雇用数約500人。
航空機	GE アビエーション	米国	2016年10月	非公開	航空機エンジンの開発・製造拠点設立を発表。新規雇用数500人。
事務機器	コニカミノルタ	日本	2016年11月	9,000万コルナ(333万ユーロ)	ブルノに2つの研究開発センターを設立。60人以上を追加雇用する予定。

[注] <時期>は公表時期。

[出所] 各社発表および報道などから作成
<M&A>

被買収企業(事業)		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
電気機器	ログレックス・スマート・メータリング	杭州炬華科技	中国	2016年1月	非公開	ログレックスを中国のメーター製造会社である杭州炬華科技が買収。
デジタル広告	アドエクスプレス	電通	日本	2016年3月	非公開	電通の海外本社である電通イージス・ネットワークは、デジタルエージェンシー大手アドエクスプレスを買収。
機械	ジュジャス	中国華信(CEFC)	中国	2016年8月	非公開	中国エネルギー大手 CEFC は、エンジニアリング大手のジュジャス、およびその子会社である TS ピルゼンを買収。CEFC は、ブラハの高級ホテルや旅行代理店大手のインビアも買収。
不動産	P3 ロジスティック・パークス	GIC	シンガポール	2016年11月	24億ユーロ	シンガポールの政府投資公社が米国の TPG 不動産とカナダの IvanhoeCambridge より買収。
飲料(ビール)	ブルゼンスキー・プラズドロイ	アサヒグループホールディングス	日本	2016年12月	非公開	中・東欧5カ国のビール事業を英 SAB ミラーヨーロッパより取得。チェコではブルゼンスキー・プラズドロイを獲得。地域統括拠点をブラハに設立。

[注] <時期>は公表時期。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表 7 チェコの主な対外直接投資事例(2016年)

<M&A>

買収企業 企業名	被買収企業(事業)			時期	投資額	概要
	業種	企業名	国籍			
EPH	エネルギー	バッテンフォール	スウェーデン	2016年4月	非公開	バッテンフォールがドイツに所有する火力発電所と炭鉱事業を英投資ファンド PPF インベストメンツとともに買収。
アバスト	セキュリティソフト	AVG テクノロジーズ	オランダ	2016年7月	約13億ドル	アバスト、AVG テクノロジーズは、ともにチェコで設立されたセキュリティソフト開発企業。現在、AVG テクノロジーズはアムステルダムを本拠地としている。

[注] <時期>は公表時期。

[出所] 各社発表および報道などから作成

■ 日系企業の投資は増加傾向に

ジェトロ・プラハ事務所の調査によると、チェコ進出日系企業は254社で、うち製造業は103社である(2017年5月時点)。

2016年の日本からの直接投資は、前年比約3倍の2億4,200万ユーロとなった。2016年に発表された案件例では、日立金属が2016年9月に、欧州各国向け鉄道車両用電線のハーネス組立ラインの既存工場への導入を発表、東レも既存の水なし平板製造工場の拡張計画を同月に発表した。2017年以降も、既に日本企業3社が製造拠点設立を発表している。M&A 案件では、アサヒグ

ループホールディングスが英国大手 SAB ミラーからビール醸造最大手ブルゼンスキー・プラズドロイを買収することを2016年12月に発表、2017年3月に買収を完了した。日本企業はじめ外資企業からの投資が継続する中、失業率が2017年5月末にはEU域内最低の3.0%を記録するなど、労働力不足が問題化しつつある。

表 8 チェコの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2015年		2016年		2015年		2016年	
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	
機械類・輸送用機器	424	468	55.6	10.3	1,456	1,584	70.5	8.8
雑製品	86	99	11.8	15.0	275	281	12.5	2.2
食用に適さない原材料	86	98	11.6	13.7	21	23	1.0	10.8
原材料別製品	57	53	6.3	△6.4	205	238	10.6	16.4
化学製品	49	48	5.7	△2.0	106	119	5.3	11.7
食料品・生きた動物	42	41	4.8	△2.9	2	2	0.1	13.1
合計(その他含む)	782	842	100.0	7.6	2,065	2,248	100.0	8.8

[出所] チェコ統計局